

園芸部

優良繭生産者、団体を表彰
養蚕振興セミナー開催

福島県優良繭生産推進協議会は、2月1日(木)に福島市飯坂町の「飯坂ホテル聚楽」で、養蚕振興セミナーを開催しました。セミナーには県内の養蚕農家や蚕糸業関係者が参加しました。協議会長であるJA全農福島の半澤正志園芸部長があいさつを行い、その後、優良団体・生産者の表彰を行いました。受賞者は、桑園の管理はもとより、飼育環境改善、優良繭の出荷実績などが評価されました。



あいさつをする半澤協議会長

その後、大日本蚕糸会の安藤俊幸副会頭より平成30年度の振興対策事業について報告があり、各蚕糸業関係者より今年度の事業報告と次年度計画の報告がありました。大日本蚕糸会蚕業技術研究所の野澤瑞佳主任 研究員からは「蚕病

対策について」と題し、膿病ウイルス撲滅のポイントなどの話をいただきました。

優良団体と、生産者は次のとおりです。
団体：JAふくしま未来 伊達地区養蚕部会
個人：高橋忠俊(JAふくしま未来 福島地区)、幕田義男(JAふくしま未来 伊達地区)、遠藤孝利(JAふくしま未来 安達地区)、猪腰力治(JA福島さくら郡山地区) (敬称略)



受賞者のみなさん

3月にお届けする材料を使用したレシピです

JA くれあい食材
おすすめ
レシピ

豚肉と春野菜のコールスロー



材料

- ・麓山高原豚肩小間肉… 150g
- ・キャベツ……………200g
- ・玉ねぎ……………1/2個
- ・セロリ……………60g
- ・塩……………小さじ1
- ・黒こしょう……………少々
- ・プレーンヨーグルト……………大さじ2
- ・マヨネーズ……………大さじ1

作り方

- 1 豚肉は食べやすい大きさに切って茹で、ザルにあげて流水でながす。セロリは筋を取っておく。
- 2 キャベツとセロリは細切りにし、塩をまぶしてもみ、5分おいてからザルにあげて流水でサッと洗い流す。
- 3 玉ねぎは薄切りにし、水にさらして5分おく。
- 4 ポウルにAを混ぜ合わせ、水分をよく絞った①②③を和え、塩と黒こしょうで味を調える。

- 材料は2人分が基準になっております。
- 盛付例はイメージです。
- ※材料の野菜がない場合は家庭にあるお好きな野菜をお使い下さい。

東北地方の長期予報

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、東北太平洋側で多い確率50%です。日照時間は、東北太平洋側で少ない確率50%です。東北日本海側の降雪量は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、低い確率60%です。2週目は、高い確率50%です。3~4週目は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>

項目	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】東北地方	20	30	50
【降水量】東北日本海側	30	40	30
【降水量】東北太平洋側	20	30	50
【日照時間】東北日本海側	30	40	30
【日照時間】東北太平洋側	50	30	20
【降雪量】東北日本海側	40	40	20

<気温経過の各階級の確率(%)>

期間	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
2月24日~3月2日	60	30	10
3月3日~3月9日	20	30	50
3月10日~3月23日	20	30	50

凡例： ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)
(仙台管区气象台 発表)

編集後記

JA農産物直売所「愛情館」の来店者が200万人を突破しました。たくさんのお客様にご愛顧いただき、本当にありがとうございます。愛情館の店内をよく見てみると、野菜や果物をご紹介する可愛らしいポップなど、様々なご案内があります。(特にイトインコーナーが力作!) これらは全て愛情館のスタッフが一つ一つ手作りのものです。また、おすすめの商品やイベント情報など、スタッフ自らが更新している「愛情館ブログ」も好評です。震災後にリニューアルし、お店の規模が大きくなりましたが、より一層、生産者とスタッフの愛情がたっぷり詰まったお店です。毎週末には、趣向を凝らした様々なイベントを開催しています。イベント情報は愛情館の店頭や、全農福島のホームページで確認できますので、ぜひ「愛情館」にお越し下さいね。

今月の主な行事予定

3月3日	管理部	全農チビリンピックサッカー東北大会(~4日)
3月11日	管理部	福島ユナイテッドFCホームゲーム初戦
3月14日	畜産部・園芸部	第12回JAグループ国産農畜産物商談会(~15日)
3月16日	生産資材部	春期中古農業機械展示会



ラジオ福島

「農家の皆さんへ」

午前5時15分~25分
放・送・予・定

3月5日	燃料部	免税軽油
3月6日	畜産部	営農相談室
3月12日	燃料部	LPガスで快適生活
3月13日	生産資材部	営農相談室
3月19日	畜産部	肉牛の飼養管理について
3月26日	米穀部	平成30年産米の取扱方針について

Farming Information

今月の営農情報

営農企画部

土壌の微生物性分析のご紹介

農業生産基礎である農地は、物理性・化学性に加え、生物(微生物)性が互いに作用しあって、土壌の性質や状態を形作っています。

農業技術センターは、片倉コープアグリ(株)つくば分析センターと提携し、土壌の総合診断として、土壌の微生物分析と有害線虫分析の受付を平成29年10月より開始しました。
分析項目は左のようなセット内容となっておりますので、新規作付圃場の事前確認や、土壌病害増加圃場などでご利用ください。

①微生物分析セット

(菌の種類とバランスを確認できます)
糸状菌 菌糸と呼ばれる細長い細胞からなり、植物の成長を阻害するものもある。放線菌 糸状の菌糸が放射状に伸び、糸状菌等の活性を抑制するものもある。細菌 単細胞の微生物(バクテリア)。糸状菌等の活性を抑制するものもある。色素耐性菌 特定の色素に耐性をもつ酵母や細菌。酵母は有機物分解の初期段階で、細菌は根圏で多くなる傾向がある。フザリウム菌 病原性の糸状菌。トマト萎凋病、キュウリつる割病、イチゴ萎黄病、カボチャ立枯病、ニラ乾腐病等。青枯菌(ナス科のみ) 病原性の細菌で下葉から枯れる。株元地際茎・主根を切断すると白濁細菌液が流出する。

根コブ病菌(アブラナ科のみ) 病原性の糸状菌。根にコブを形成し作物の成長が止まる。

②有害線虫分析セット

(被害の原因となる線虫を特定できます)
ネコブセンチュウ 根組織内に侵入し定着、根が肥大して根にコブを形成する。ネグサレセンチュウ 根組織内に侵入移動しながら吸汁し、根が腐敗し脱落する。
シストセンチュウ 根組織内に侵入し定着、根にシスト(卵の入った袋)を着生する。ラセンセンチュウ 土壌中を移動しながら虫体の頭部または口針を根組織に貫入して吸汁する。

また、ご依頼の際は通常の化学分析のような乾燥した土壌ではなく、圃場と同じ状態の未乾燥の生土での受け付けとなりますのでご注意ください。

ご不明な点がございましたら、農業技術センターまでお問い合わせください。



キュウリの根こぶ症状